

地元のマッチで 被災地に「植樹」

神戸マラソン慈善企画

20日に開催される第1回

神戸マラソン（兵庫県、神戸市主催、朝日新聞社など

共催）のゴール地点のイベント会場で、神戸の地場産品のマッチを使って東日本大震災の被災地図を緑に彩るチャリティイベントが開かれている。

会場には青森から千葉まで被災7県の地図（縦3

辺、横1・5辺）を用意。マラソンの参加手続きを済ませたランナーらが、義援金と引き換えに樹木に見立てた緑のマッチ20本を受け取り、地図上に1本ずつ立てていった。フルマラソンを走る兵庫県尼崎市の河本玲子さん（44）は「一日も早く被災地の人たちが元気になるように、という願いを込めて立てました」と話した。

日本燐寸工業会（神戸市）が企画。初日の18日だけで約千人が協力したという。20日まで。

（清野貴幸、諫山卓弥撮影）

